



彼らが教えてくれたこと

高嶋 凜乃

サイズの合っていない服に、靴をはいていないためか割れた爪。
決して裕福な生活をしているとは思えないストリートチルドレンの子どもたち。
JICA の研修を通して出会った彼らは、私が想像していたよりも遥かに、毎日を彼らなりに必死に、そして幸せに生きていた。その姿を見て、以前彼らに抱いていた「可哀想」という感情は間違いだったと気づくと同時に、「物を盗まれるかもしれない」と彼らを警戒していた自分をとても恥ずかしく感じた。一方で、「彼らは路上で生活することしか知らないから、今は幸せだと感じるのかもしれない。習い事をしたり旅行をしたりできる世界を知つたら、彼らは自分の生活を幸せと思えるかな?」という JICA の方の言葉が心に残っている。この言葉は、自分の人生において選択肢を持てることがどれほど幸せかを私に教えてくれた。

彼らは厳しい生活環境下でも、自分の夢を持ち希望を持って生きている。そんな彼らのパッションあふれる生き様を目の当たりにして、自分に今足りていないものが何なのかを教わった。

どのような環境下でも、彼らのように強く生きる「草の根」のような人間になりたい。